



証券コード：9913

日邦産業株式会社

証券コード：9913

2026年3月期 第1四半期決算説明資料

2025年 8月 5日
代表取締役社長
岩佐 恭知

26/3期 1Q 連結業績（1）

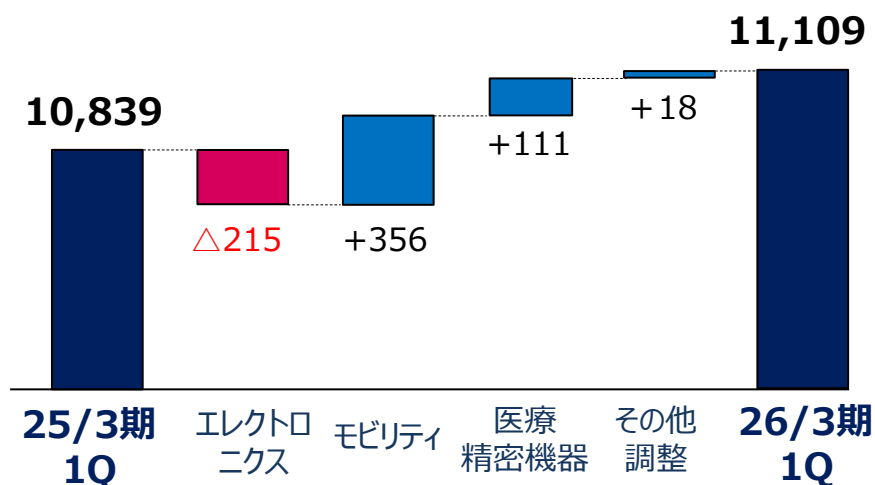


～モビリティの新規量産品による収益貢献と、医療・精密機器の収益改善効果により、増収・増益～

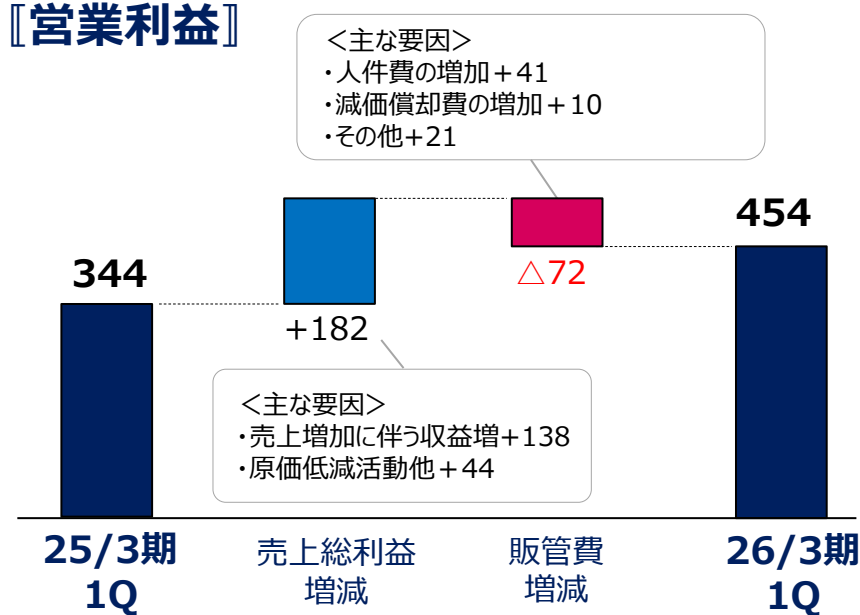
（単位：百万円）

科目	25/3期 1Q	26/3期 1Q	前年同期比	増減額
売上高	10,839	11,109	102%	+270
営業利益	344	454	132%	+110
経常利益	446	497	111%	+51
四半期純利益	284	343	121%	+59

『売上高』

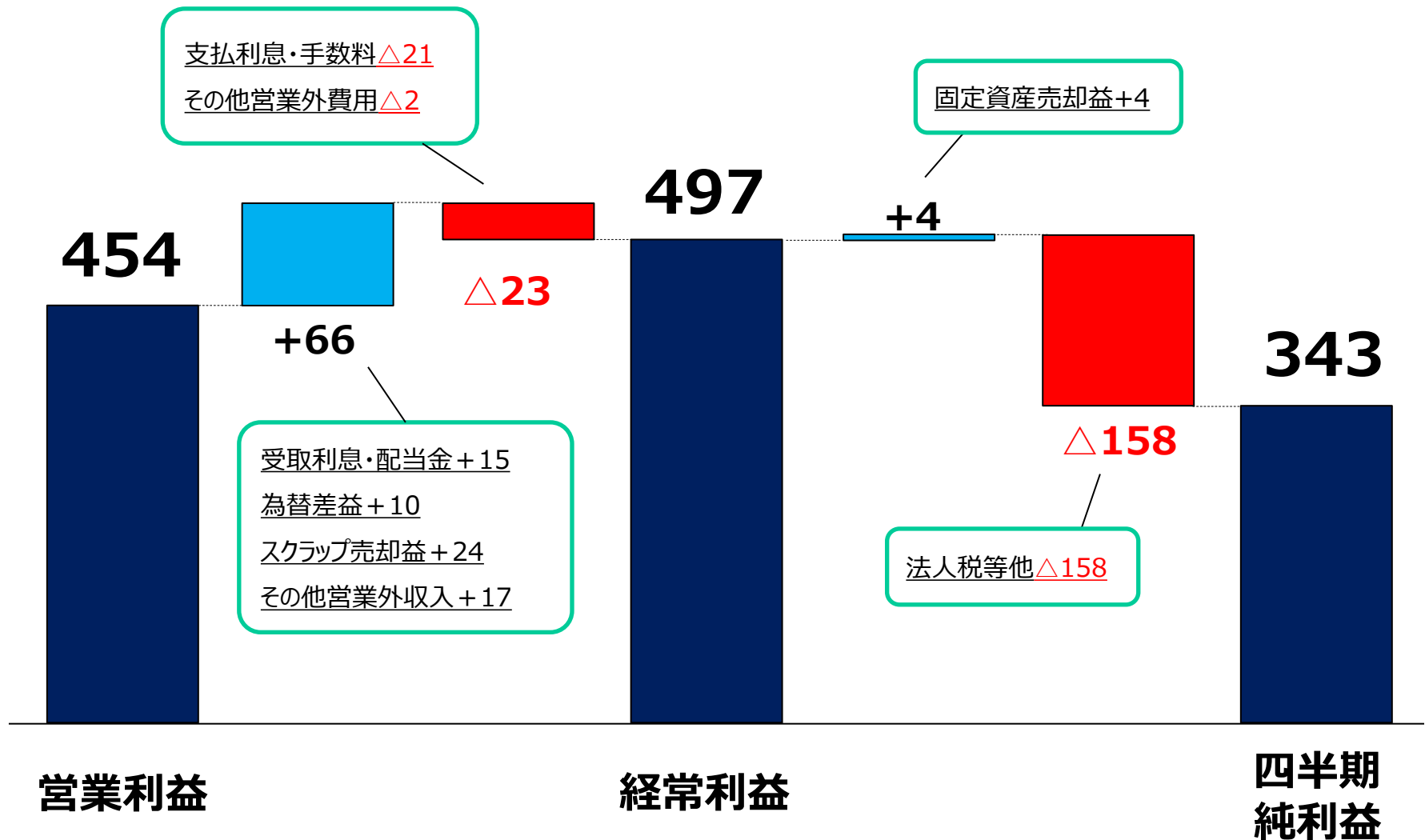


『営業利益』



26/3期 1Q 連結業績（2）

（単位：百万円）



26/3期 通期業績予想



～外部環境によるマイナス影響が継続し、モビリティの減益が見込まれるが、医療・精密機器の収益改善によりカバーできる見込みのため、通期業績予想は据え置く～

(単位：百万円)

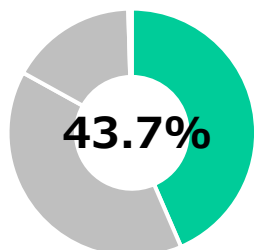
科目	26/3期 1Q	26/3期 通期見通し	1Q 進捗率	通期業績予想と年間配当金について
売上高	11,109	45,500	24.4%	1.通期業績予想 1Qの進捗としては、モビリティが継続して外部環境（アセアン及び中国の自動車市場の落ち込み等）によるマイナス影響を受け、進捗率を低下させました。2Q以降については、米国の関税政策の影響が見通せないことに加え、 ①エレクトロニクス:スマートフォン関連部材の回復が見通せないこと ②モビリティ:アセアン及び中国の自動車市場の回復が不透明なこと ③医療・精密機器:プリンター関連部品の落ち込みが継続すること という3つの懸念要素が継続するものの、これらの影響を最小限にする活動に加え、エレクトロニクスの受注が継続して堅調に推移する見通しであること、医療・精密機器の収益改善が見込まれること、事業の入替えを含むこれまでの種まき活動の効果を見通していることから、2025年5月13日に公表した通期業績予想を据え置きます。 2.年間配当予想 通期業績予想とともに、年間配当金「1株＝78円」も据え置きます。 ※本通期業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた予想値であり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。通期業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。
営業利益	454	2,000	22.7%	
経常利益	497	1,950	25.5%	
当期純利益	343	1,400	24.5%	
年間配当金	(25/3期) 1株当たり 76円	1株当たり 78円		

セグメント別業績（エレクトロニクス）



売上高構成比

（単位：百万円）



減収

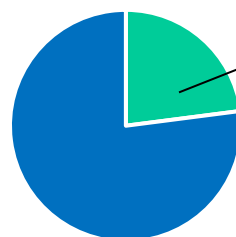
減益

	25/3期 1Q累計	26/3期 1Q累計	前年同期比	増減額
売上高	5,081	4,866	96%	-215
営業利益	404	400	99%	-4

1Qの業績概況

- ・ 生成AI関連のサーバー需要拡大による配線板材料の受注が引き続き好調に推移し、沖縄工場のウエハ研磨用キャリア事業の受注も継続して堅調に推移した。
- ・ 一方、スマートフォン関連部材の需要回復が進まず、受注が低調に推移したことに加え、タイ（コラート）工場のドライフィルム事業の立ち上げ遅れによる影響を受けたことにより、わずかに減収・減益となった。

売上高の進捗



1Q進捗
23.0%

	25/3期	26/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	20,838	21,200	102%	+362
営業利益	1,532	1,600	104%	+68

通期の見通し

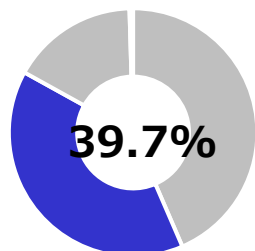
- ・ 2Q以降もスマートフォン関連部材の需要回復が先行き不透明だが、生成AI関連のサーバー向け配線板材料と、沖縄工場のウエハ研磨キャリアの受注が引き続き堅調に推移する見込みであり、通期としては、増収・増益となる見通し。

セグメント別業績（モビリティ）



売上高構成比

（単位：百万円）



増収

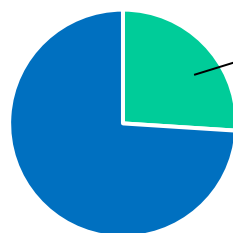
増益

	25/3期 1Q累計	26/3期 1Q累計	前年同期比	増減額
売上高	4,067	4,423	109%	+356
営業利益	179	211	118%	+32

1Qの業績概況

- ・ アセアン及び中国の自動車市場の落ち込み等によるマイナスの影響が継続し、タイ（バンコク）工場やマレーシア工場の受注回復が遅れ、収益性が悪化。
- ・ 一方、昨年より立ち上げ準備を進めてきた、ベトナム工場のブレーキ制御関連部品の量産が軌道に乗り、収益に寄与したことにより、増収・増益となった。

売上高の進捗



1Q進捗
26.0%

	25/3期	26/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	16,844	17,000	101%	+156
営業利益	1,160	1,400	121%	+240

通期の見通し

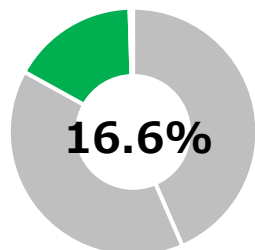
- ・ 米国関税政策の影響が見通せないことに加え、アセアン及び中国の自動車市場の落ち込み等によるマイナス影響が2Qまでは継続する見込み。
- ・ 引き続き、グループ拠点への自動化の横展開等による原価低減活動を継続。

セグメント別業績（医療・精密機器）



売上高構成比

（単位：百万円）



増収

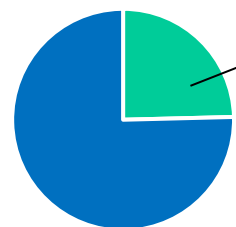
増益

	25/3期 1Q累計	26/3期 1Q累計	前年同期比	増減額
売上高	1,734	1,845	106%	+111
営業利益	79	178	225%	+99

1Qの業績概況

- ・ タイ（コラート）工場における医療機器部品の受注は、堅調に推移した。
- ・ 加えて、フィリピン工場のプリンター関連部品の受注が、顧客の増産に伴い好調に推移し、タイ（コラート）工場、ベトナム工場の原価低減活動の効果も相まって、増収・増益となった。

売上高の進捗



1Q進捗
24.6%

	25/3期	26/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	7,419	7,500	101%	+81
営業利益	396	400	101%	+4

通期の見通し

- ・ タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- ・ プリンター関連部品の受注は、顧客フォーキャストの先行きが不透明ではあるが、引き続き原価低減活動を継続し、収益性の改善に努めていく。

【参考資料】 26/3期 1Q 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目	25/3期	26/3期 1Q	増減額
流動資産	18,759	19,681	+922
現預金	6,226	6,320	+94
受取手形及び 売掛金等	8,533	9,638	+1,105
たな卸資産	3,222	2,983	△239
その他	776	739	△37
固定資産	13,715	13,265	△450
有形固定資産	9,193	8,770	△423
無形固定資産	483	453	△30
投資その他の 資産	4,038	4,041	+3
資産合計	32,475	32,947	+472

科目	25/3期	26/3期 1Q	増減額
流動負債	12,220	13,817	+1,597
支払手形及び 買掛金等	7,978	7,594	△384
短期借入金等	1,654	3,154	+1,500
リース債務、割賦未払金	314	272	△42
その他	2,272	2,795	+523
固定負債	3,724	3,611	△113
長期借入金	747	676	△71
リース債務、長期割賦未払金	498	458	△40
その他	2,478	2,476	△2
負債合計	15,945	17,429	+1,484
資本金	3,137	3,137	-
資本剰余金、利益剰余金 及び自己株式	9,417	9,077	△340
その他の包括利益累計額	3,973	3,301	△672
非支配株主持分	1	1	+0
純資産合計	16,530	15,518	△1,012
負債・純資産合計	32,475	32,947	+472

日邦産業株式会社

IR担当： 経営企画部 水口、藤浪、小清水

電話番号： 052-212-8726

ホームページ（URL）： <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありませんので、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になる恐れがあることをご認識された上でご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

なお、本業績見通しにおいては、1米ドル＝145円、1タイバーツ＝4.3円の為替換算レートで計算しております。